

2024年12月16日(月)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

**オリザ油化が、新規に『ポジティブ・インパクト・ファイナンス』の取り組みを開始！**  
**－オリザ油化のSDGs目標達成の取り組みが金融機関に評価されました！－**

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市、代表取締役:村井弘道、以下「オリザ油化」)は、株式会社大垣共立銀行(頭取:林敬治)と、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)※1が提唱したポジティブ・インパクト金融原則※2に即したポジティブ・インパクト・ファイナンスの融資契約を締結しました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス(以下「PIF」)は、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、情報開示することが最大の特徴です。

当社は「世界の人々の健康と美を実現する」という理念のもと、天然物由来の機能性食品や機能性化粧品原材料をグローバルに展開して参りました。特に当社の主業である「こめ油」は、精米により不要となった「米ぬか」を原料としており、副産物を活用することからSDGsに貢献できるサステナブルな食用油として注目されています。また、「米ぬか」をはじめとする様々な植物由来の未利用資源が持つ機能性に着目した製品開発に力を入れており、この2つの事業が当社の2本柱となっています。

世界の未利用資源の活用にこだわり、オンリーワンでグローバルな、そしてサステナブルな製品づくりに邁進し、自然と共生した社会づくりを行ってきた取り組みがこのPIFの締結という形で評価いただけました。

当社の企業活動は創業以来、85年間脈々と引き継がれて来た、「オリザ油化のDNA」に根付いたSDGsの取り組みと言っても過言ではありません。当社は、引き続きサステナブルな社会の実現に向けた取り組みを社員一丸となって積極的に行なって参ります。

※1 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)

1992年に設立された、世界の金融セクターとのパートナーシップ。

金融機関が意思決定において環境・社会・経済の3側面を検討し、総合的にどのような貢献ができるか(＝インパクトを創出できるか)に焦点を当てて考案されたビジネスモデルの推進を目指しています。

※2 ポジティブ・インパクト金融原則

2017年にUNEP FIによって策定され、金融において「ポジティブ・インパクト」を創出するための共通原則。

持続可能な開発の3側面(環境・社会・経済)について、ポジティブ、ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的な内容となっています。